

～～第8698回～～

赤城山

～R1. 6. 6-7～

1日目(6/6)、レンタカーを運転し7人で2泊3日の山行に静岡を出発。昼前にキャンプ場‘赤城山バンガロー森の家’に到着。駐車場に車を止め今日の山行に必要なものだけ持って駒ヶ岳登山口から林の中に入る。気温 17°Cで寒かったが急な坂道が続きすぐ汗ばんでくる。少し登ったところからグァングァンジージーと春ゼミの大合唱が頭に降り注ぐ。登っていくほどに芽吹いたばかりの木々は新緑で美しく、そこここに鮮やかなツツジが彩を添えて咲いている。木漏れ日が差し込む林の中を時おり涼風が流れ、登りの苦しさを忘れ見とれてしまう。稜線に出て周囲の山々や大沼、近くの黒檜山など眺めながら昼食休憩にする。休憩後、駒ヶ岳に向け出発。山頂までの15分は比較的緩やかで花の道を歩いているよう。紫のツツジが多くなり、オレンジのツツジも混じり、薄ピンクの花をたくさんつけたズミの木、どれも日の光を受けて透き通るような花びら。鮮やかな緑の木々を通して見える大沼の濃緑の水面も光っている。近くの黒檜山の山肌もツツジが混じって新緑に包まれている。この美しい景色がみられただけで明日は雨の予報だが今回の山行に満足して帰れると皆で言い合った。駒ヶ岳山頂(1689m)から一度下り黒檜山に急登する。長い木の階段を息を弾ませて登っていくと大きな石の集まり・御黒檜大神の祠がある。遠足の幼稚園児たちが休んでいる。よくぞ登ってきたと感心して我々はあと一息その先の山頂を目指す。登山口から約2時間、黒檜山(1827.6m)に到着し展望台へ。遠くの山々が青空に浮かぶように良く見える(尾瀬の燧岳と至仏山・苗場山・谷川岳等)。眼下に小さく見える町は桐生市かな?春ゼミの合唱を聞きながら絶景を眺めて休憩。下りは黒檜山登山口に向かって歩く。この道もブナやミズナラ等の新緑が美しいが、急坂で大小の石や岩だらけの道で下りきるまで足元から目が離せない。眼下に大沼がチラチラ美しい色を見せているが気をつけて歩くのに精一杯。下山しバンガローへ戻る。天気も良く自然に恵まれた楽しい山行でした。

2日目(6/7)、朝食の準備をしていたころからポツポツ来ていた雨が雷混じりの本降りになる。事前の予報では‘午後から雨’だった。翌日も確実に雨。皆で相談して1泊2日で切り上げることにする。予定の鳥居峠～八丁峠～地蔵岳等の山行を取りやめ、バンガローを精算して出発。先ず赤城神社へ向かうが開門時間前なので覚満淵を散策することにする。覚満淵は川や湿原を周囲800mほどの木道がぐるりと囲んでいる。小尾瀬と言われるだけあり雨の中、傘をさしても木道を安心して歩ける。赤いつぼみをたくさん膨らませたレンゲツツジを間近に見られる。もう少しで花が開き、一帯が赤く美しくなることだろう。9:00前に赤城神社へ戻り参拝する。大沼の中だが広い敷地に建ち、本殿に皇室・豊臣・徳川の紋がある。売店も開けていただき、いつも観光客が大勢立ち寄っているようだ。益々強くなる雨の中、大沼を後にする。途中、渋川市の白井温泉‘こもちの湯’(1時間250円・シャンプー別)で汗を流し帰路に就く。

参加者：7名（静岡東）

天気：①晴れ ②雨

地図：赤城山

コースタイム：①静岡 615＝清水 IC＝赤城 IC＝バンガロー森の家 1150…駒ヶ岳登山口
1200…稜線(昼食)1245-1300…駒ヶ岳 1315…黒檜山・展望台 1355-1430…黒檜山登山口
1545…バンガロー1610-800②＝覚満淵 810-40＝赤城神社 845-915＝白井温泉 1030-1130
＝渋川伊香保 IC＝清水 IC＝静岡

記録：静岡東支部 J. M



黒檜山から大沼へ下る



赤城山(黒檜山)頂上にて